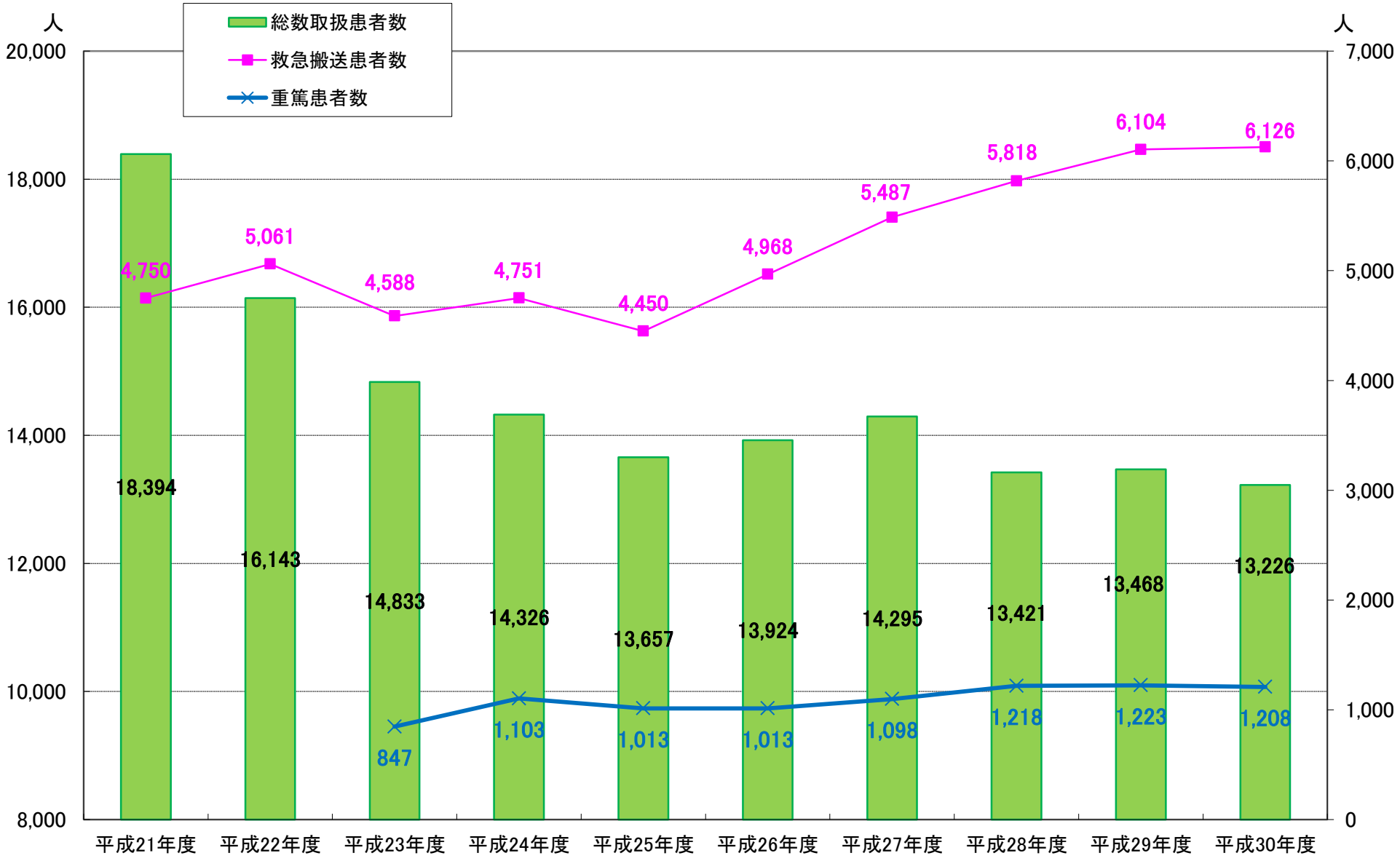
平成３０年度
高 知 赤 十 字 病 院
救命救急センター運営状況

令和元年 10 月

救命救急センター連絡協議会

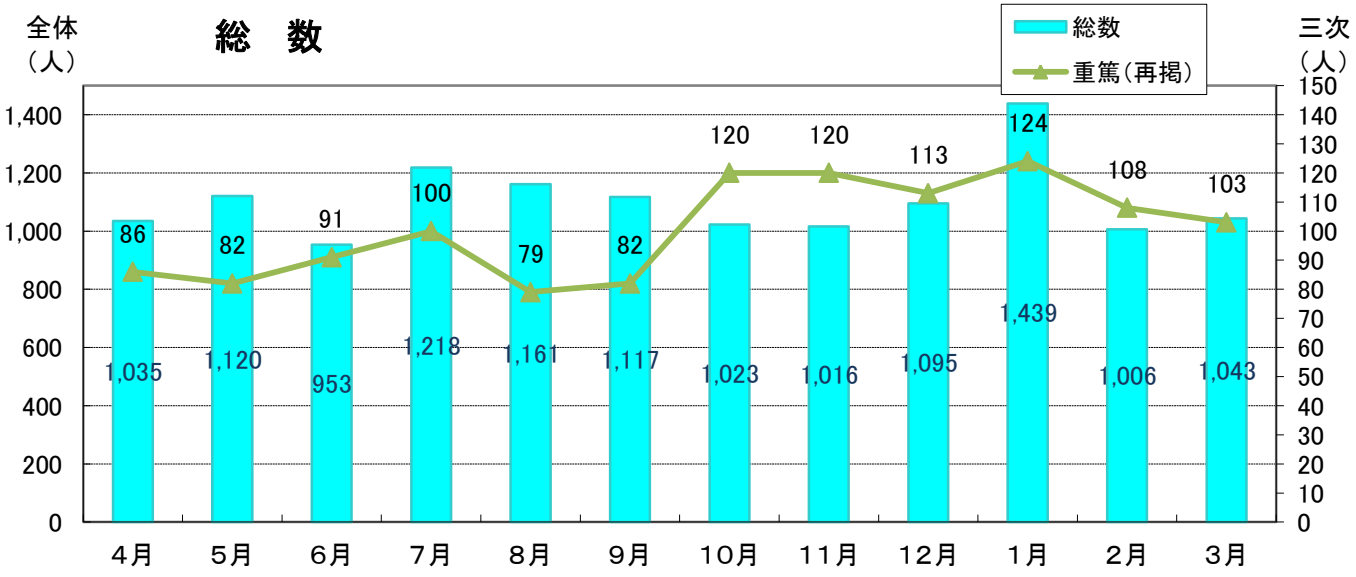
1. 救命救急センター取扱患者年度別推移（総数・救急車・三次）



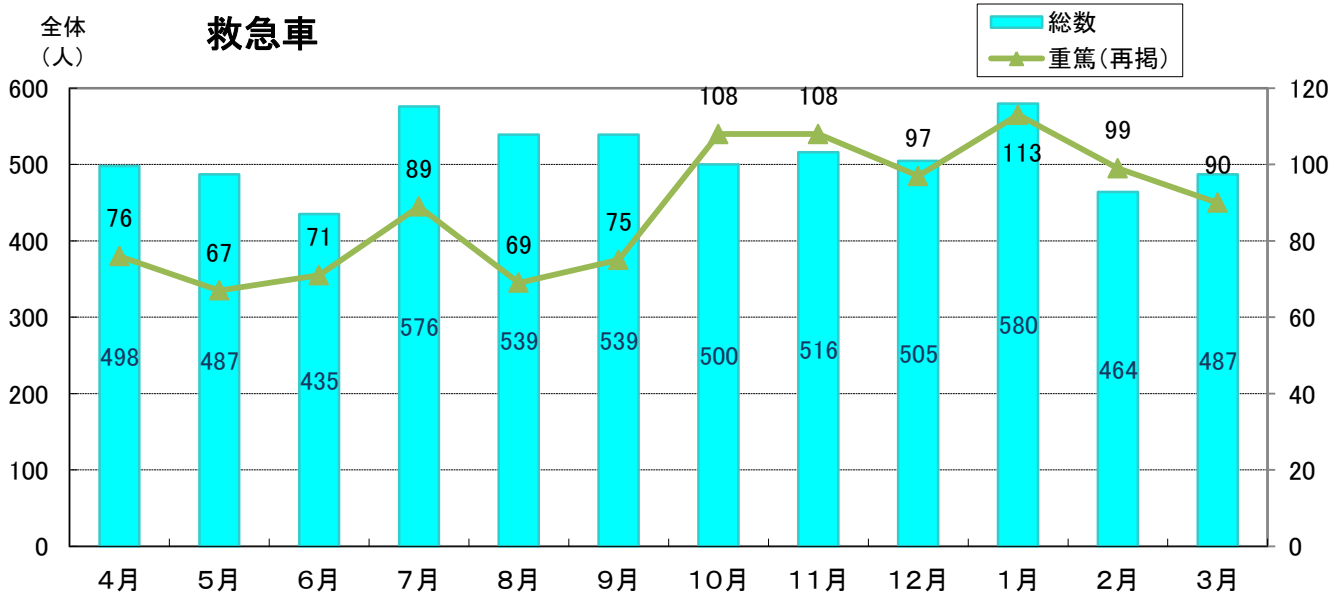
※重篤患者数：厚労省による救命救急センター現況調査において、指定する基準を満たす重篤な患者の数

高知赤十字病院

2. 救命救急センター月別取扱患者数



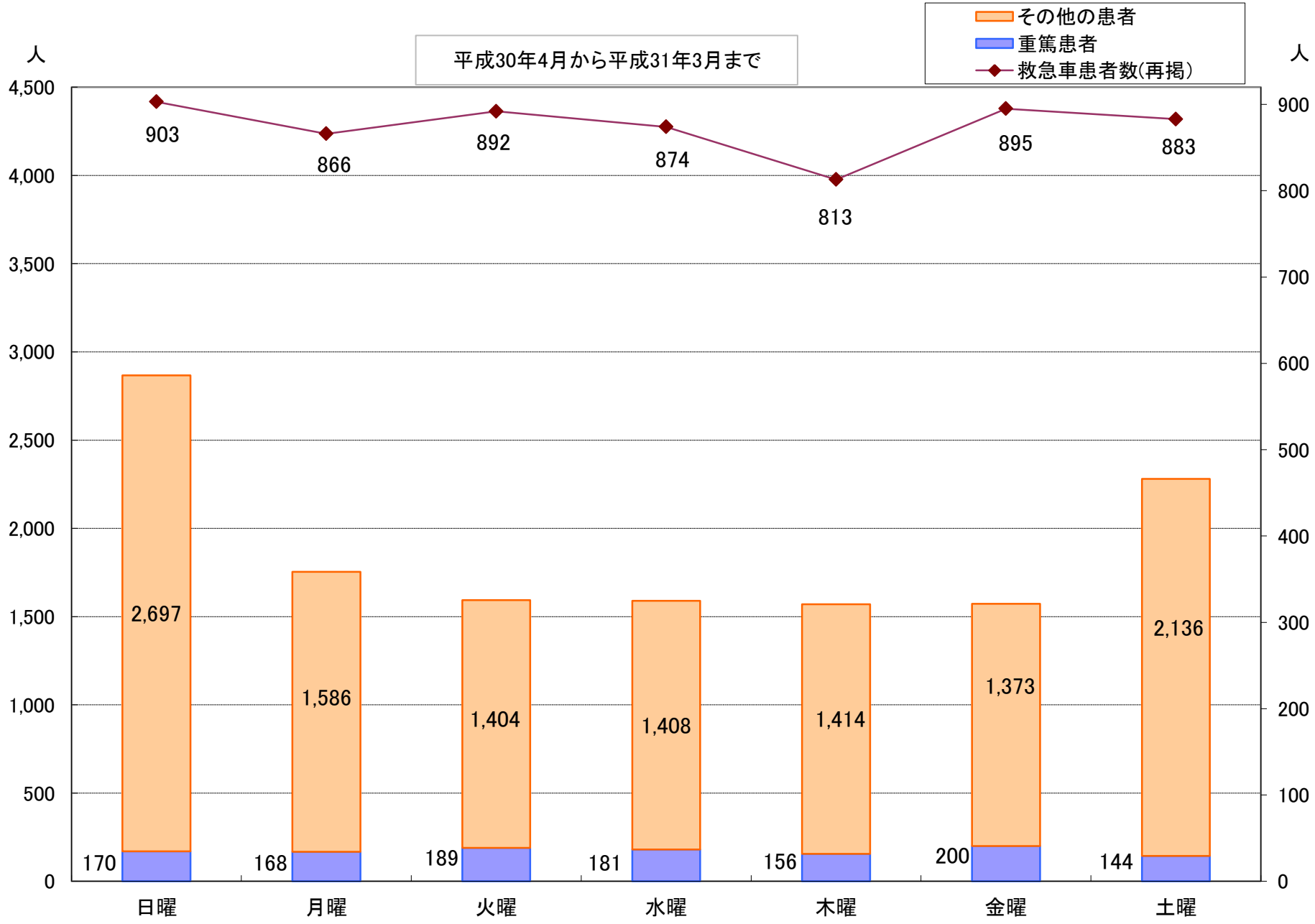
総　数	13,226 人
重篤患者数	1,208 人



総　数	6,126 人
重篤患者数	1,062 人

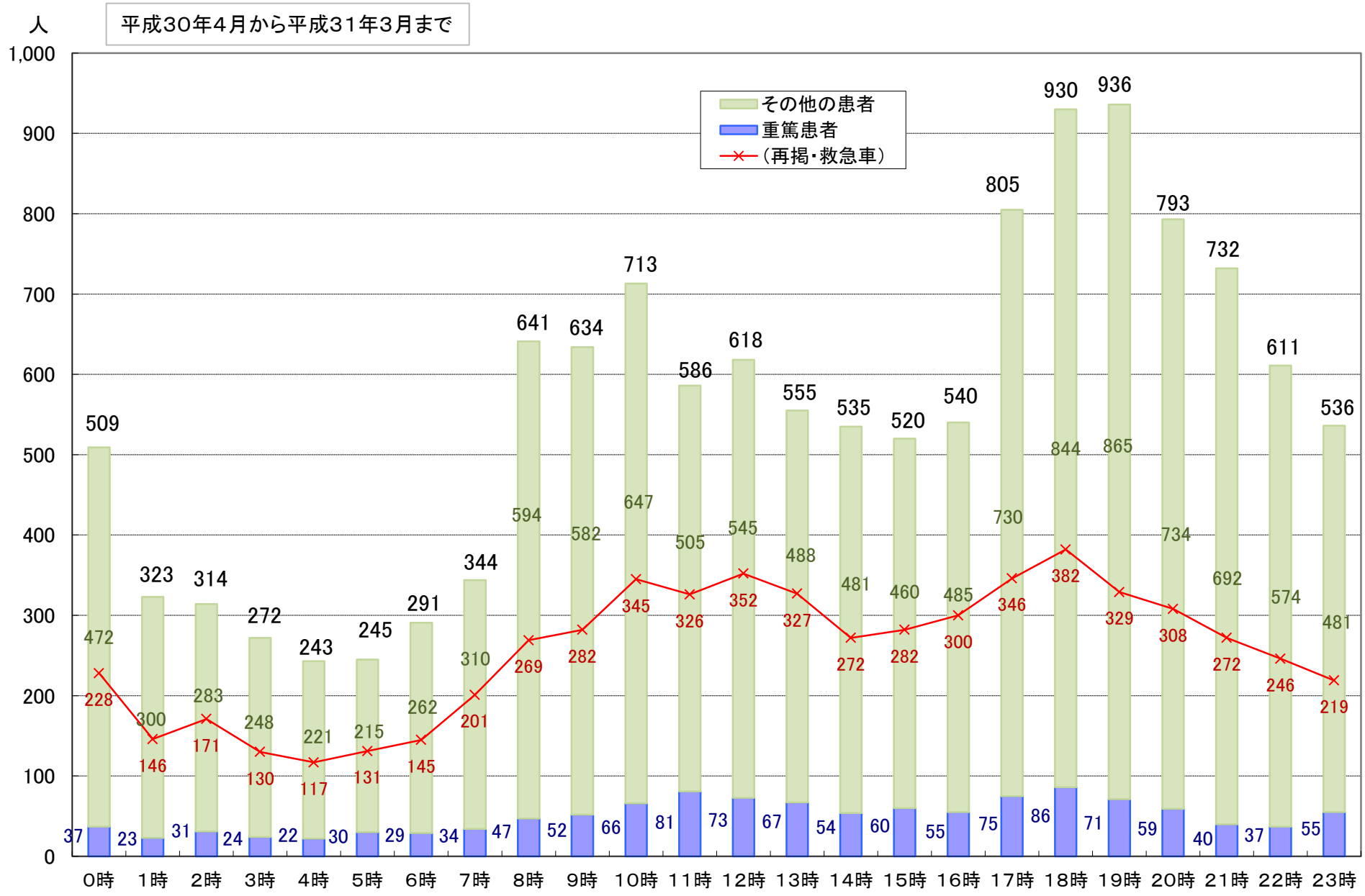
高知赤十字病院

3. 曜日別救急患者・救急車患者数調



高知赤十字病院

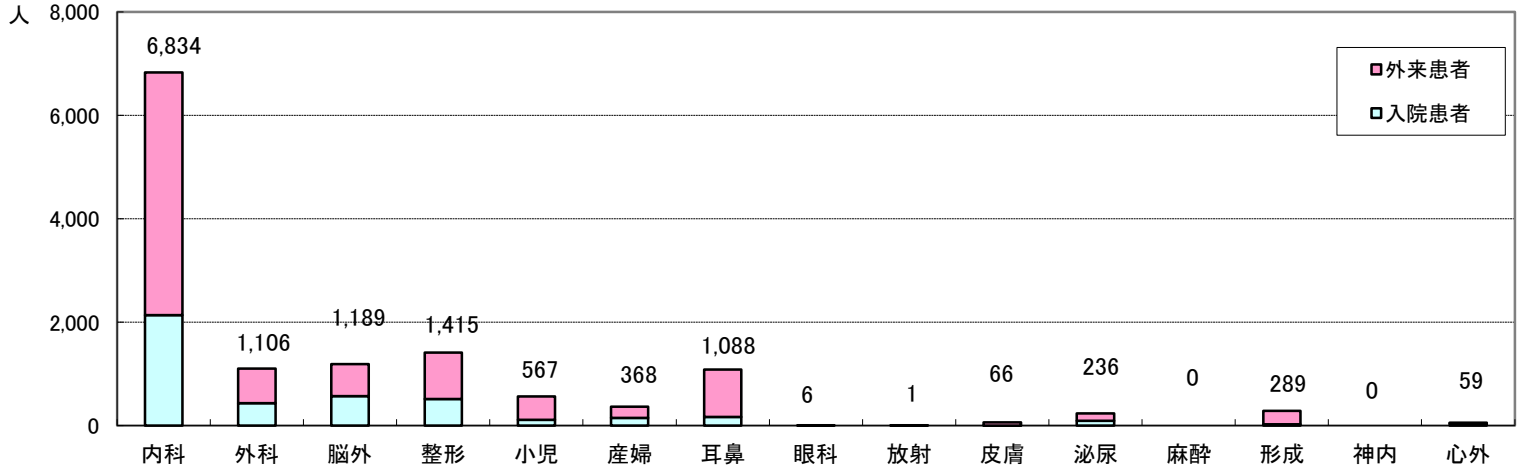
4. 時間帯別救急患者数調



高知赤十字病院

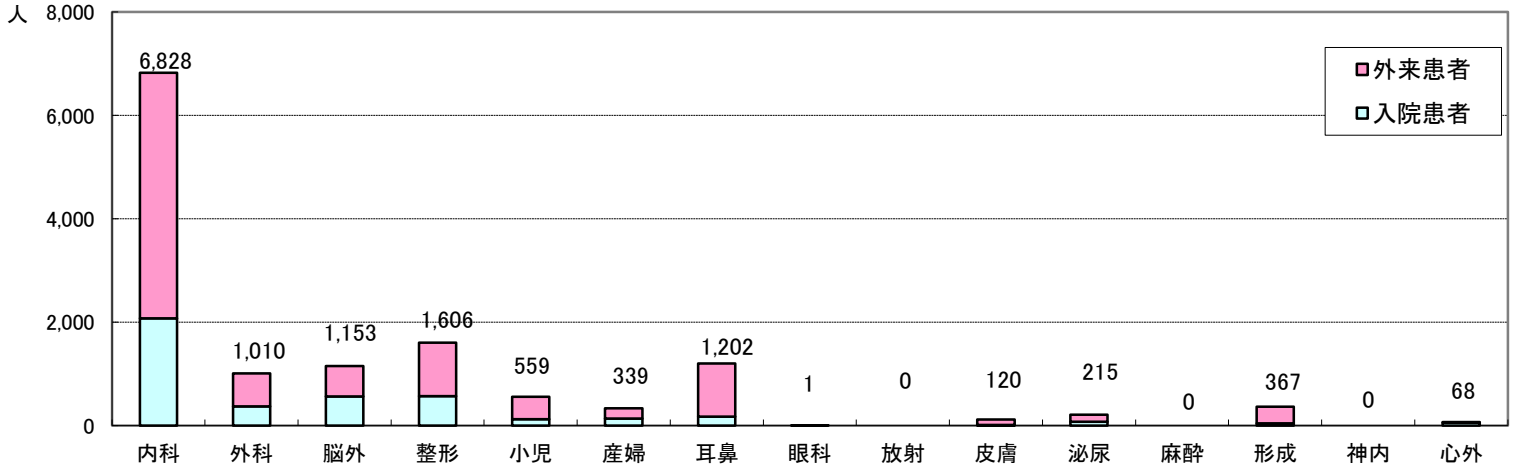
5. 平成30年度　診療科別入外別救急患者数調

H30



H30	内科	外科	脳外	整形	小児	産婦	耳鼻	眼科	放射	皮膚	泌尿	麻酔	形成	神内	心外	合計
外来患者	4,696	673	618	902	454	215	917	6	1	61	139	0	260	0	13	8,957
入院患者	2,138	433	571	513	113	153	171	0	0	5	97	0	29	0	46	4,269
合計	6,834	1,106	1,189	1,415	567	368	1,088	6	1	66	236	0	289	0	59	13,226

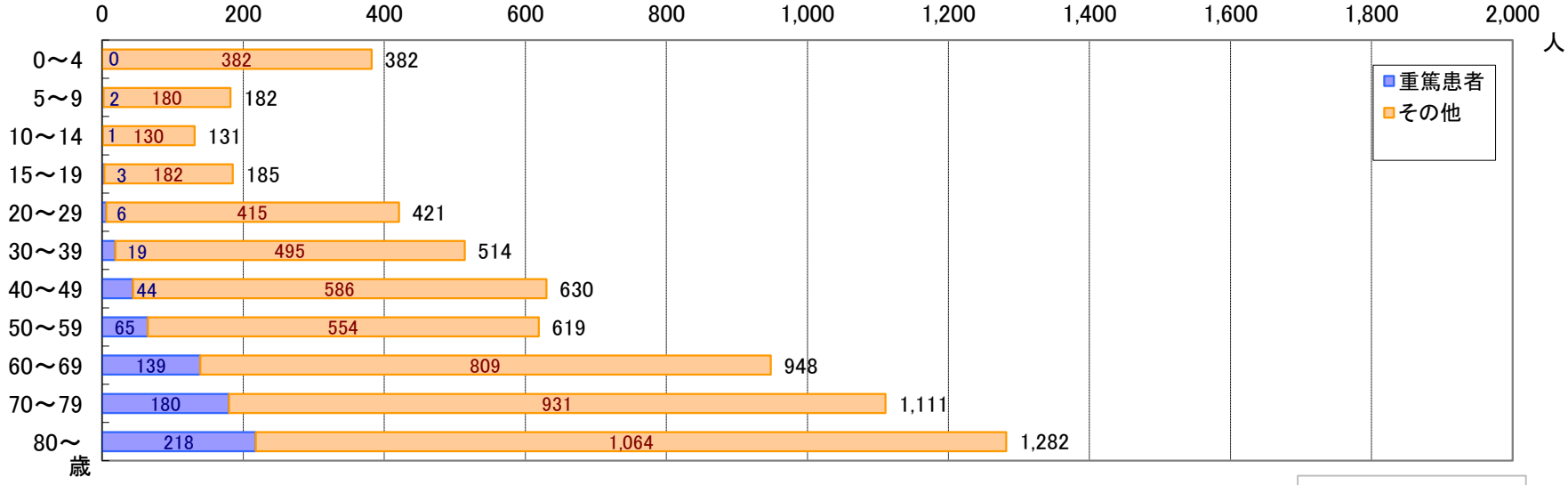
H29



H29	内科	外科	脳外	整形	小児	産婦	耳鼻	眼科	放射	皮膚	泌尿	麻酔	形成	神内	心外	合計
外来患者	4,750	636	590	1,036	435	201	1,027	1	0	108	140	0	323	0	8	9,255
入院患者	2,078	374	563	570	124	138	175	0	0	12	75	0	44	0	60	4,213
合計	6,828	1,010	1,153	1,606	559	339	1,202	1	0	120	215	0	367	0	68	13,468

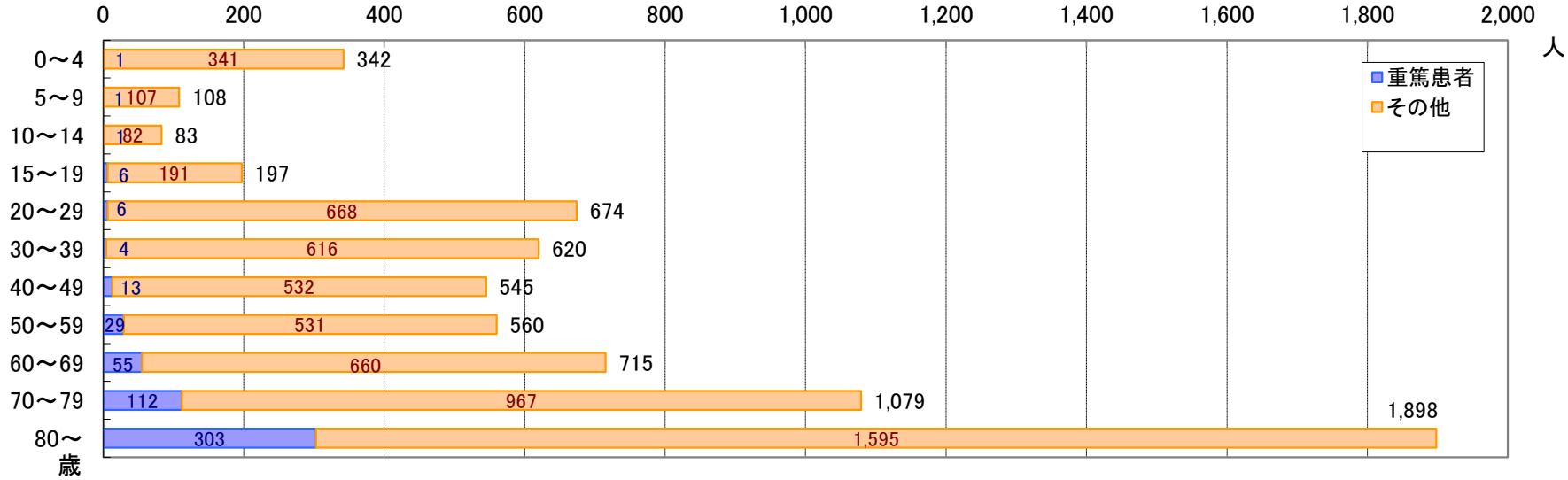
6. 年齢別・男女別取扱患者数　（平成30年4月から平成31年3月まで）

男　6,405 人



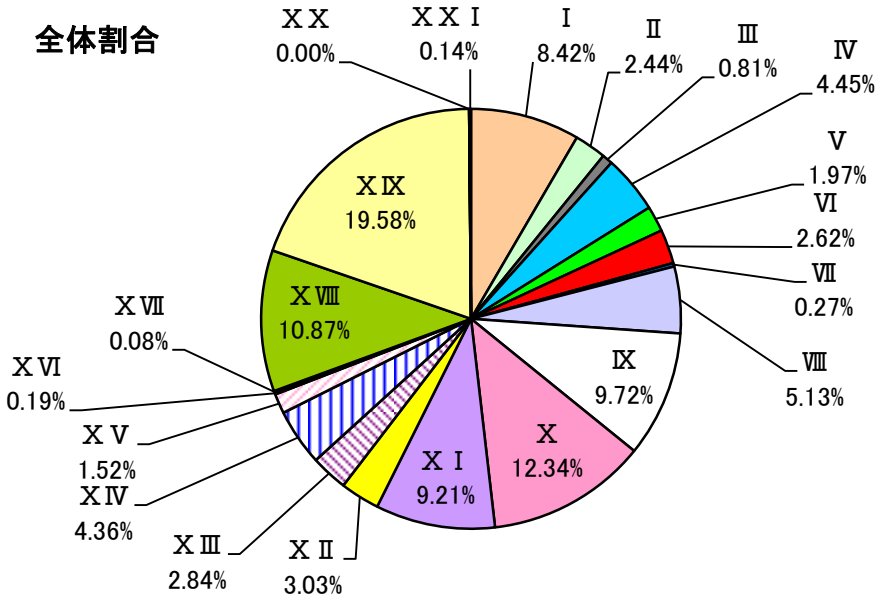
男女比
48:52

女　6,821 人

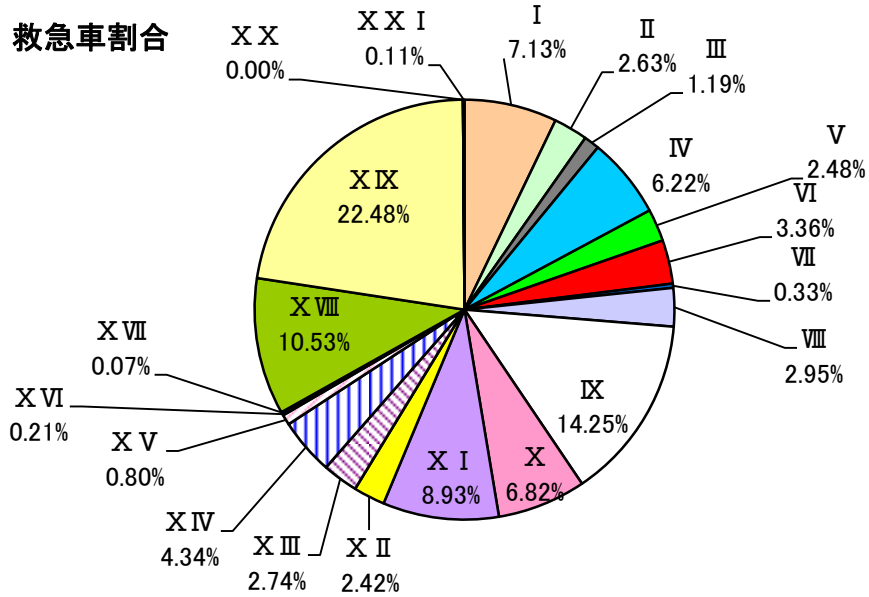


7. 疾病別取扱患者数

全体割合



救急車割合

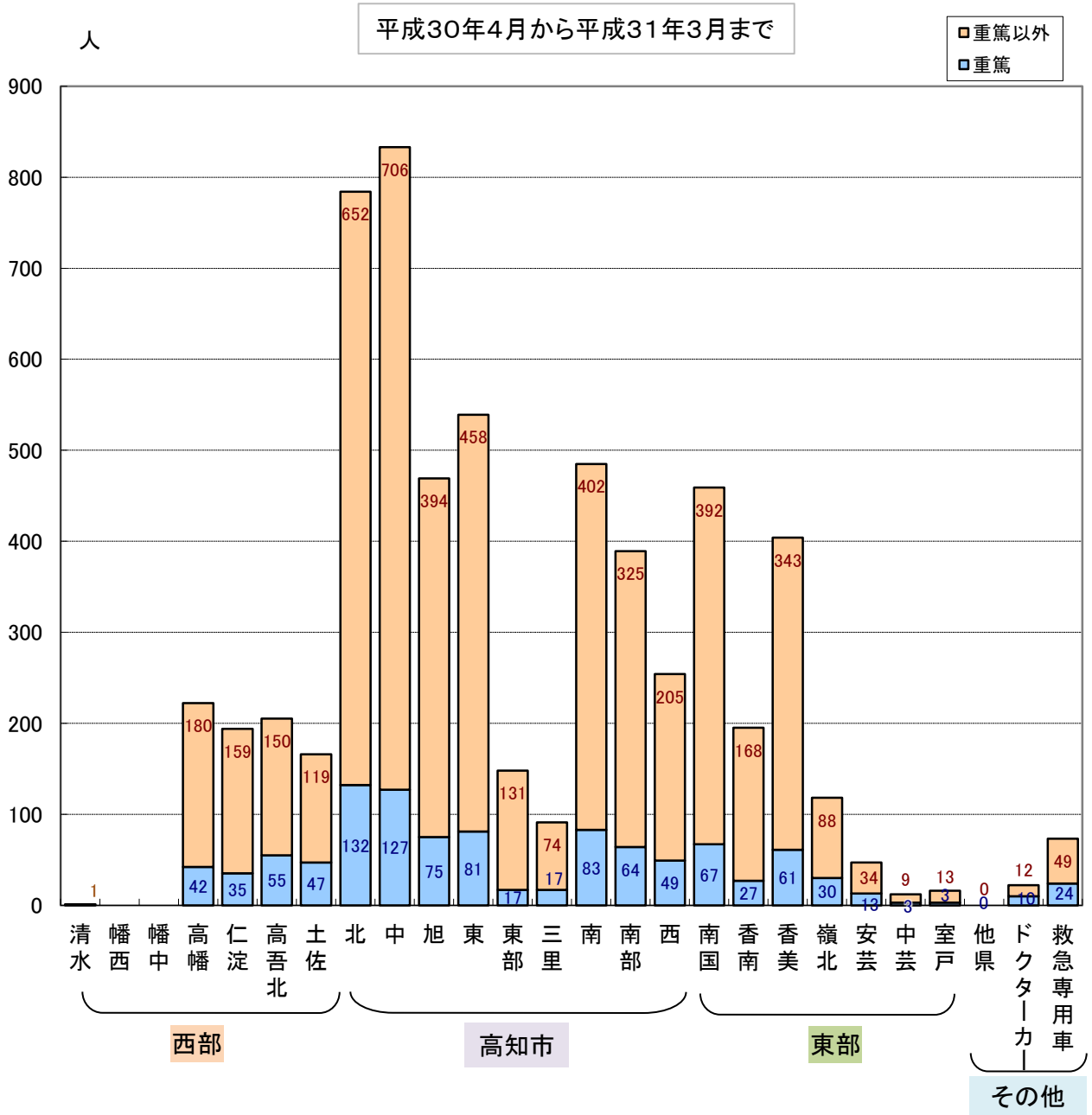


平成 30 年度

	疾病区分	全体	救急車
Ⅰ	感染症及び寄生虫症	1,113	437
Ⅱ	新生物	323	161
Ⅲ	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	107	73
Ⅳ	内分泌、栄養及び代謝疾患	589	381
Ⅴ	精神及び行動の障害	261	152
Ⅵ	神経系の疾患	347	206
Ⅶ	眼及び付属器の疾患	36	20
Ⅷ	耳及び乳様突起の疾患	678	181
Ⅸ	循環器系の疾患	1） 1,285	2） 873
Ⅹ	呼吸器系の疾患	1,632	418
ⅩⅠ	消化器系の疾患	1,218	547
ⅩⅡ	皮膚及び皮下組織の疾患	401	148
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	376	168
ⅩⅣ	尿路性器系の疾患	577	266
ⅩⅤ	妊娠、分娩及び産じょく	201	49
ⅩⅥ	周産期に発生した病態	25	13
ⅩⅦ	先天奇形、変形及び染色体異常	11	4
ⅩⅧ	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,438	645
ⅩⅨ	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,589	1,377
ⅩⅩ	傷病及び死亡の外因	0	0
ⅩⅩⅠ	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	19	7
	合計	13,226	6,126

※脳血管疾患
1） 391 件
2） 324 件 を含む

8. 平成 30 年度　救急車地域別搬入患者数



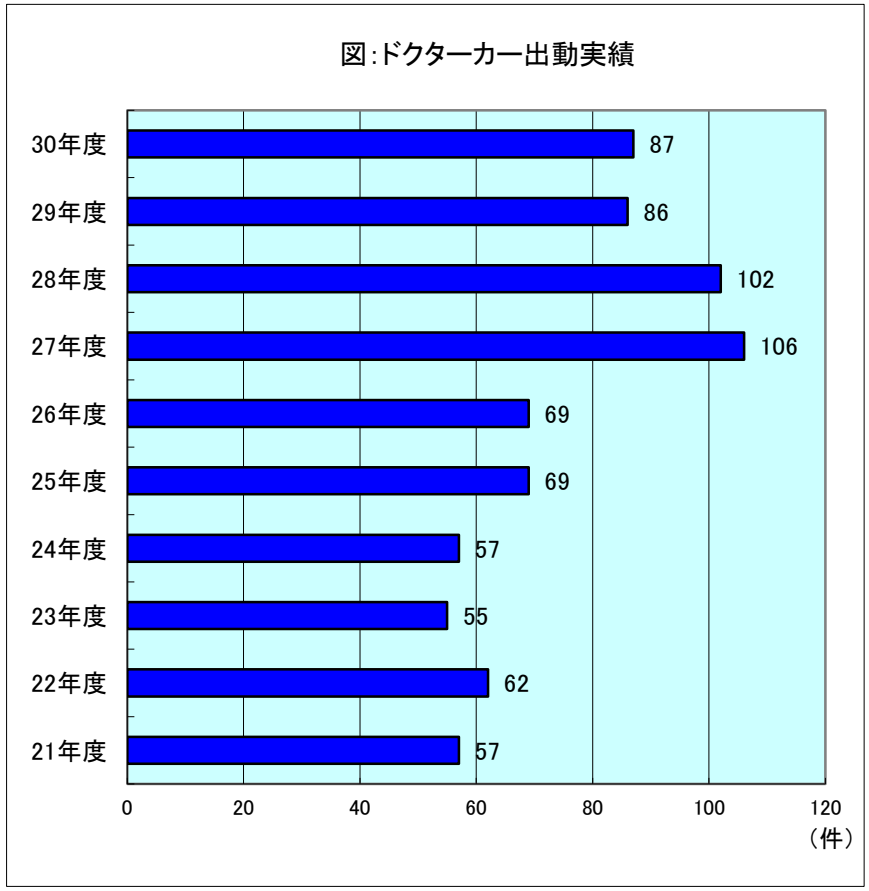
		全　体	重　篤	重篤以外
西部	清水	1	0	1
	幡西	0	0	0
	幡中	0	0	0
	高幡	222	42	180
	仁淀	194	35	159
	高吾北	205	55	150
	土佐	166	47	119
	合計	788	179	609
	%	12.9%	16.9%	12.0%
高知市	北	784	132	652
	中	833	127	706
	旭	469	75	394
	東	539	81	458
	東部	148	17	131
	三里	91	17	74
	南	485	83	402
	南部	389	64	325
	西	254	49	205
	合計	3,992	645	3,347
	%	65.2%	60.7%	66.1%
東部	南国	459	67	392
	香南	195	27	168
	香美	404	61	343
	嶺北	118	30	88
	安芸	47	13	34
	中芸	12	3	9
	室戸	16	3	13
	合計	1,251	204	1,047
	%	20.4%	19.2%	20.7%
小計		6,031	1,028	5,003
%		98.4%	96.8%	98.8%
その他	他県	0	0	0
	ドクターカー	22	10	12
	救急専用車	73	24	49
	合計	95	34	61
	%	1.6%	3.2%	1.2%
総合計		6,126	1,062	5,064
%		100%	100%	100%

9. 平成30年度　救命救急センター事業

講　義　・　実　習	センター会議　・　症例検討会		院外会議・研修会
5/7～5/21	4/21,22	第3回高知J-MELS講習会　参加者　110名	
気管挿管実習(1名)	4/23	第185回救急医療症例検討会　参加者　46名	
5/7～6/1		【高知医療センターにて開催】	
救急救命士資格取得後就業前研修(2名)	5/28	第186回救急医療症例検討会　参加者　71名	
5/28～6/7		「2才児の重症熱傷の症例」	
気管挿管実習(1名)		講演　①「熱傷の治療・創傷対応について」	
6/4～6/29		②「熱傷の治療・全身管理について」	
救急救命士資格取得後就業前研修(3名)		③「小児の虐待について」	
7/9～10/11	6/26	第187回救急医療症例検討会　参加者　66名	
救急救命士再教育研修(3名)		【近森病院にて開催】	
7/30～8/10	6/30,7/1	第5回高知J-MELS講習会　参加者　125名	
気管挿管実習(1名)	7/22	第25回高知赤十字病院ICLSコース　参加者　72名	
7/31～8/27	7/23	第188回救急医療症例検討会　参加者　33名	
救急救命士資格取得後就業前研修(2名)		【高知医療センターにて開催】	
8/20～9/3	8/28	第189回救急医療症例検討会　参加者　106名	
気管挿管実習(1名)		「現場でのCPAに陥ったと考えられた、クモ膜下出血の一例」	
8/21～8/30		「8歳のプールでの溺水によるCPA」	
救急救命士研修所生養成課程(2名)		講演「溺水(津波肺を含む)」	
9/10～9/19	9/25	第190回救急医療症例検討会　参加者　63名	
気管挿管実習(1名)		【近森病院にて開催】	10/3
10/1～10/16	10/20,21	第6回高知J-MELS講習会　参加者　146名	救命救急センター連絡協議会
気管挿管実習(1名)	10/22	第191回救急医療症例検討会　参加者　38名	
10/22～10/31		【高知医療センターにて開催】	11/19～21
気管挿管実習(1名)	11/29	第192回救急医療症例検討会　参加者　77名	全国救命救急センター長会議
10/23～3/28		「救助隊を要請した、指をフードプロセッサーに挟まれた一例」	第46回日本救急医学会総会・学術総会
救命救急士再教育研修(45名)		「救急隊の情報から速やかに手術室に搬入しえた腹部大動脈瘤破裂の一例」	
11/5～11/14		講演「当院のICUでの診療について」	
気管挿管実習(1名)	12/2	第24回高知外傷セミナー　参加者　65名	
11/26～12/3		-JPTECプロバイダーコース-	
気管挿管実習(1名)	12/22,23,24	第6回高知J-MELS講習会　参加者143名	
12/11～12/20	1/22	第193回救急医療症例検討会　参加者　59名	
気管挿管実習(1名)		【近森病院にて開催】	
1/15～1/25	1/27	第26回高知赤十字病院ICLSコース　参加者69名	
気管挿管実習(1名)	2/25	第194回救急医療症例検討会　参加者　39名	
1/21～2/1		【高知医療センターにて開催】	
救急救命士研修所生養成課程(4名)	3/16,17	第7回高知J-MELS講習会　参加者　62名	
2/4～3/4	3/26	第195回救急医療症例検討会　参加者　57名	
救急救命士資格取得後就業前研修(1名)		「転院搬送直前にCPAに陥ったが、その後の迅速な連携により救命できた急性心筋梗塞の一例」	
2/5～3/13		「ドクターカー要請となった、広範囲熱傷の一例」	
救命救急士再教育研修(16名)		講演「ドクターカー訓練を実施して」	

10.ドクターカー出動実績
平成 21年度～平成30年度

平成	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
出動回数	57	62	55	57	69	69	106	102	86	87	798

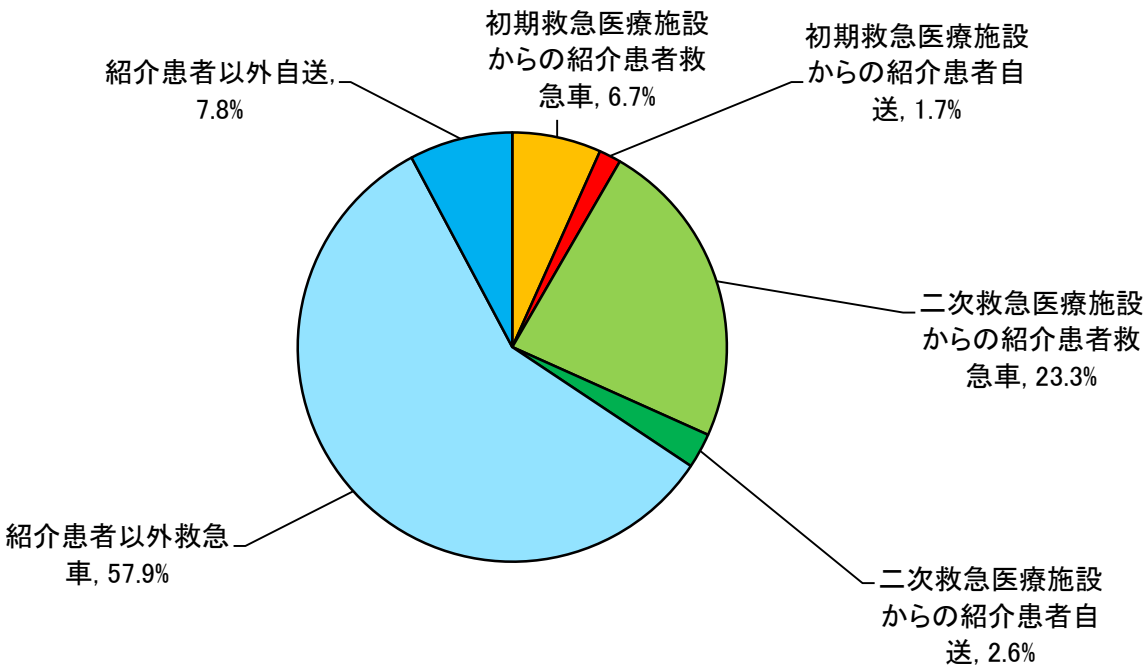


●平成30年度地域別目的別出動件数

出動地域＼目的	西　部	高知市	東　部	県　外	総　計
受入	7	12	6	0	25
転出（周産期）	0	43	18	1	62
その他（現場出動等）	0	0	0	0	0
総計	7	55	24	1	87

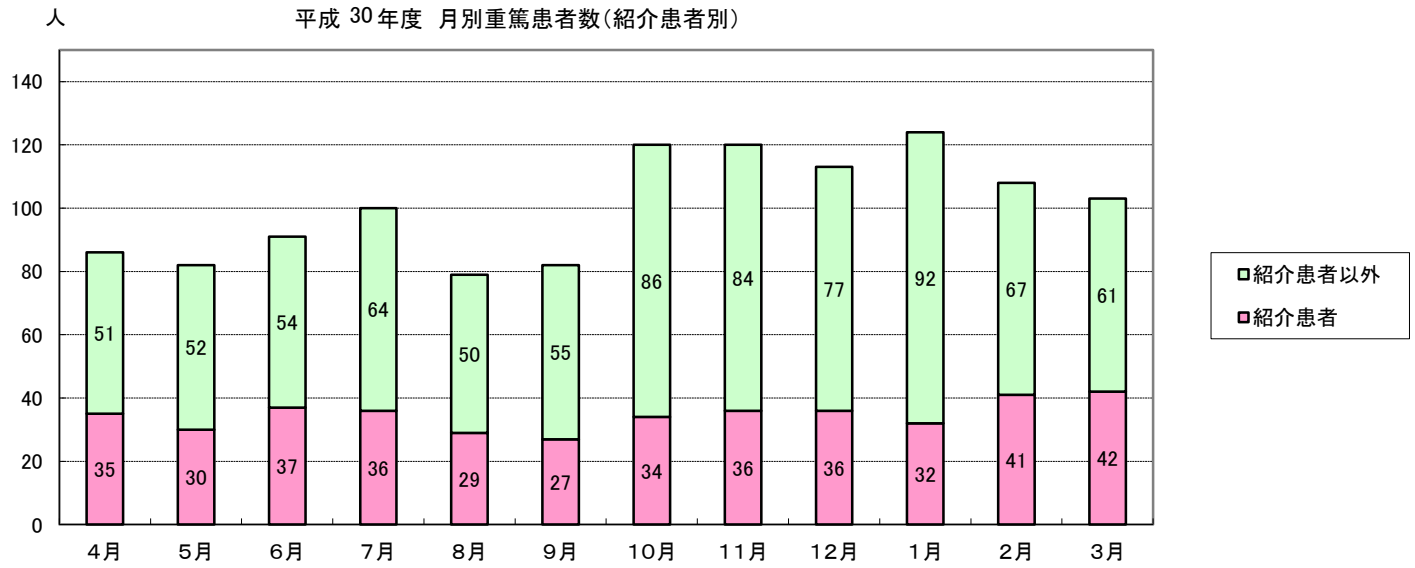
（再　掲）	医師（救急専門医）同乗	8件（ 9.1%）
	看護師同乗	74件（85%）
	救急救命士（病院専属）同乗	0件（ 0%）
	専任ドライバー運転	87件（ 100%）

11.救命救急センター取扱重篤患者内訳（紹介患者搬送別）



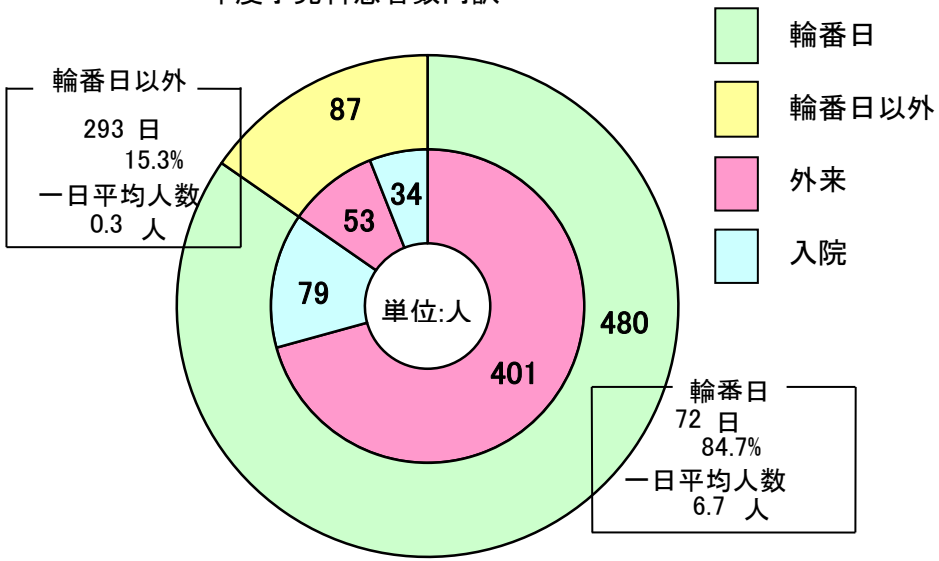
	人数	%
救急車	1062	87.9%
自送	146	12.1%
入院	1208	100.0%
外来	0	0.0%

紹介患者（人）	紹介患者以外	総計
415	793	1208



12.平成30年度　救命救急センター取扱小児科患者内訳（輪番日別）

●平成 26～30　年度小児科患者数内訳

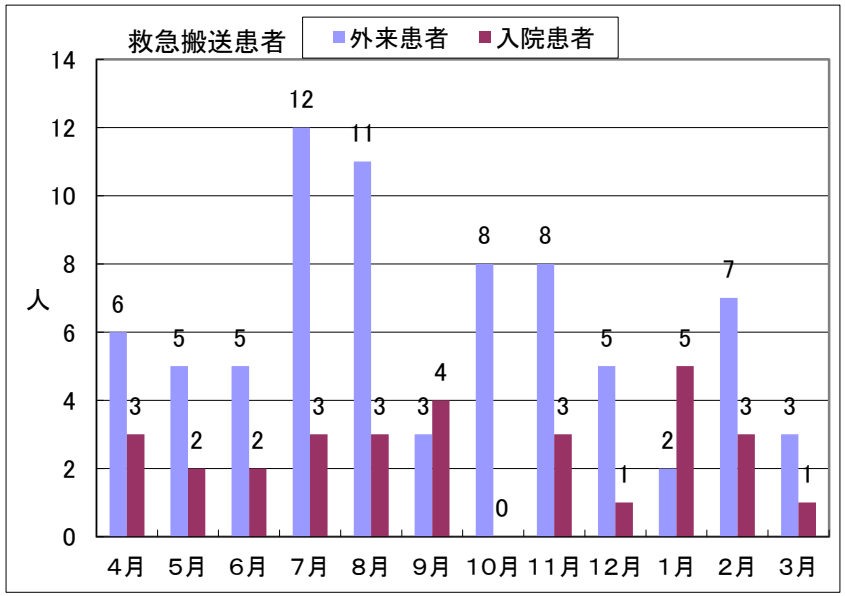


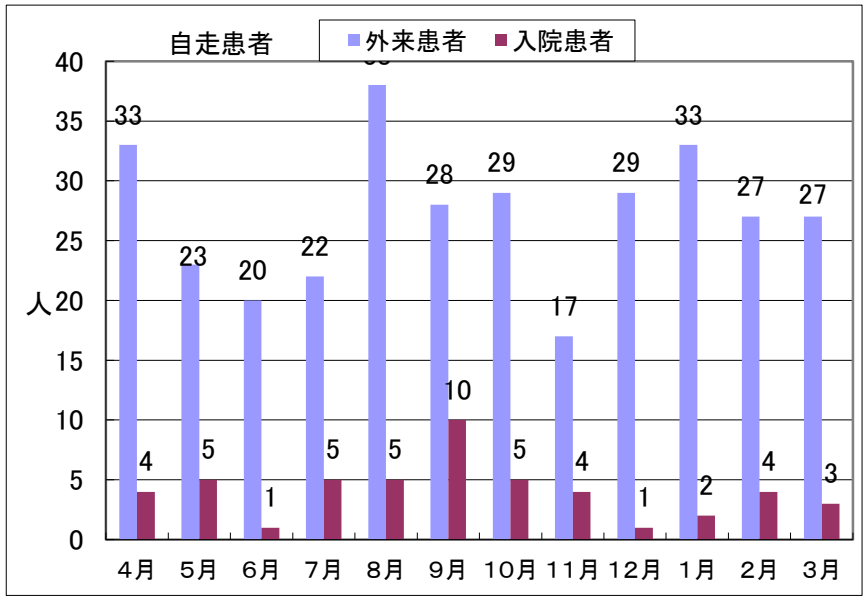
	人数	%	一日平均
入院	113	19.9%	
外来	454	80.1%	
小児科全体	567	100.0%	1.6

年度別患者数

年度	輪番日患者数			輪番日以外患者数			小児科患者合計		
	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均
H30	480	72	6.7	87	293	0.3	567	365	1.6
H29	475	48	9.9	84	317	0.3	559	365	1.5
H28	222	26	8.5	88	339	0.3	310	365	0.8
H27	271	24	11.3	127	341	0.4	398	366	1.1
H26	250	27	9.3	89	338	0.3	339	365	0.9

●輪番日における小児科患者搬送別･入院患者数





13.平成30年度　t－PA施行症例数_月別推移

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	1	3	5	2	2	2	7	2	0	4	3	5	36
H29	2	3	5	4	6	5	6	2	6	8	4	3	54
H28	4	4	2	0	3	7	5	2	7	2	0	3	39
H27	0	2	2	1	1	0	2	4	2	1	5	1	21
H26	1	0	0	1	0	1	2	0	4	0	2	3	14
H25	0	4	3	0	1	0	1	1	1	0	1	3	15
H24	0	1	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	7

14. 平成30年度重篤患者数

年間重篤患者数（平成30年4月～平成31年3月）

一つの症例で複数の項目に該当する場合は、最も適切なもの一つのみを選択する。

番号	疾病名	基準（基準を満たすもののみ数えること）	患者数（人）	退院・転院（転棟を含む）（人）	死亡（人）
1	病院外心停止	病院への搬送中に自己心拍が再開した患者及び外来で死亡を確認した患者を含む。	98	14	84
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞又は急性心筋梗塞と診断された患者若しくは緊急冠動脈カテーテルによる検査又は治療を行った患者	102	100	2
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂と診断された患者	21	19	2
4	重症脳血管障害	来院時JCS100以上であった患者、開頭術、血管内手術を施行された患者又はtPA療法を施行された患者	155	137	18
5	重症外傷	Max AISが3以上であった患者	151	145	6
		緊急手術が行われた患者	3	3	0
6	指肢切断（四肢もしくは指趾の切断）	四肢もしくは指趾の切断ないし不全切断と診断され、再接合術が実施された患者	0	0	0
7	重症熱傷	Artzの基準により重症とされた患者	4	2	2
8	重症急性中毒	来院時JCS100以上であった患者又は血液浄化法を施行された患者	13	13	0
9	重症消化管出血	緊急内視鏡による止血術を行った患者	100	97	3
10	敗血症	感染症によって重篤な臓器障害が引き起こされた患者	138	121	17
	敗血症性ショック	敗血症に急性循環不全を伴い、細胞組織障害および代謝異常が重度となる患者	85	71	14
11	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈した患者	17	17	0
12	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等と診断された患者	0	0	0
13	重症呼吸不全	呼吸不全により、人工呼吸器を使用した患者（1から12までを除く。）	109	98	11
14	重症急性心不全	急性心不全により、人工呼吸器を使用した患者又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABPを使用した患者（1から12までを除く。）	66	61	5
15	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血が必要であった患者（1から12までを除く。）	2	1	1
16	重症意識障害	来院時JCS100以上の状態が24時間以上持続した患者（1から12までを除く。）	0	0	0
17	重篤な肝不全	肝不全により、血漿交換又は血液浄化療法を施行された患者（1から12までを除く。）	0	0	0
18	重篤な急性腎不全	急性腎不全により、血液浄化療法を施行された患者（1から12までを除く。）	34	33	1
19	その他の重症病態	重症膵炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群等に対して持続動注療法、血漿交換又は手術療法を施行された患者（1から18までを除く。）	195	195	0
合計			1208	1056	152

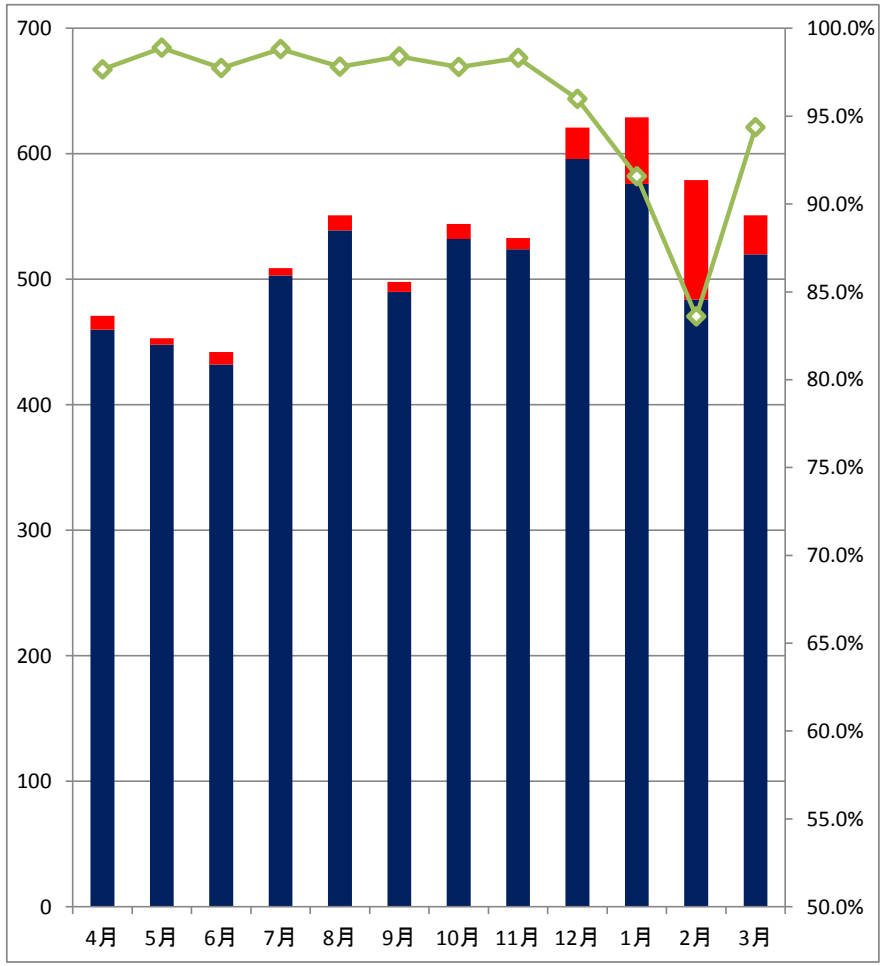
「5.重症外傷」の内訳

		患者数（人）	退院・転院（転棟を含む）（人）	死亡（人）
AIS≧3	AIS≧3が2つ以上の症例	28	26	2
	開放骨折	4	4	0
	その他	119	115	4
緊急手術症例（AIS＜3）	開放骨折	3	3	0
	その他	0	0	0
		154	148	6

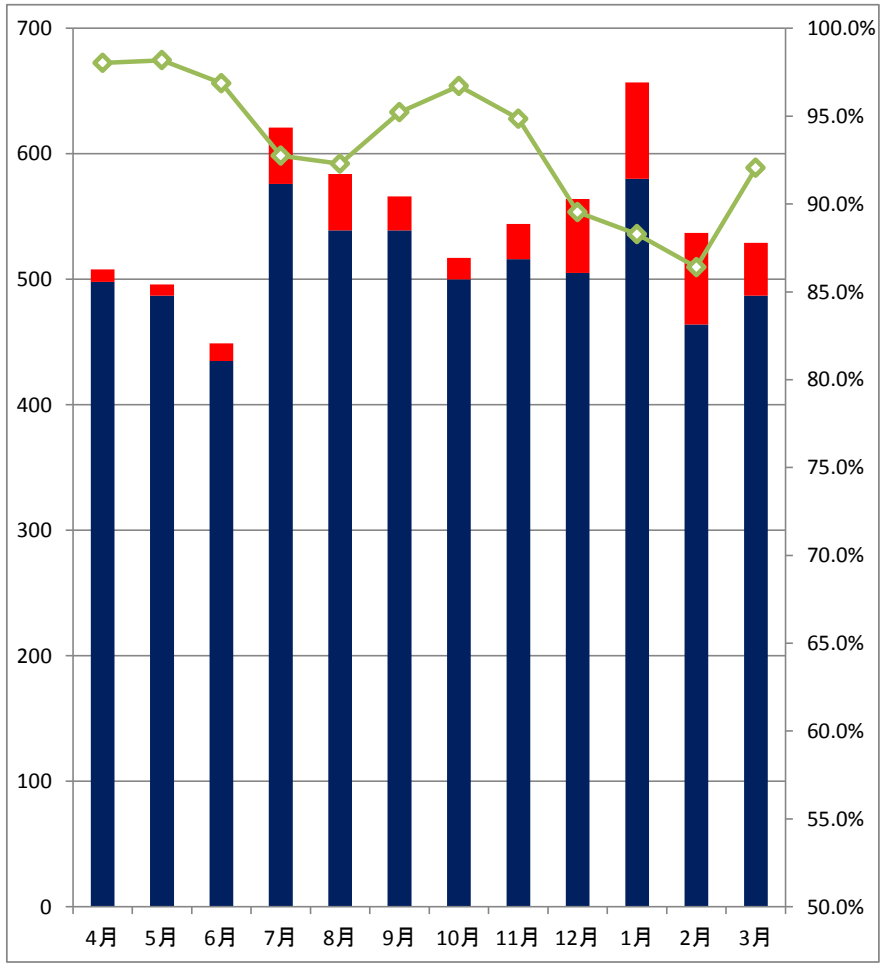
15.応需率調べ

1. 月別応需率

平成29年度



平成30年度

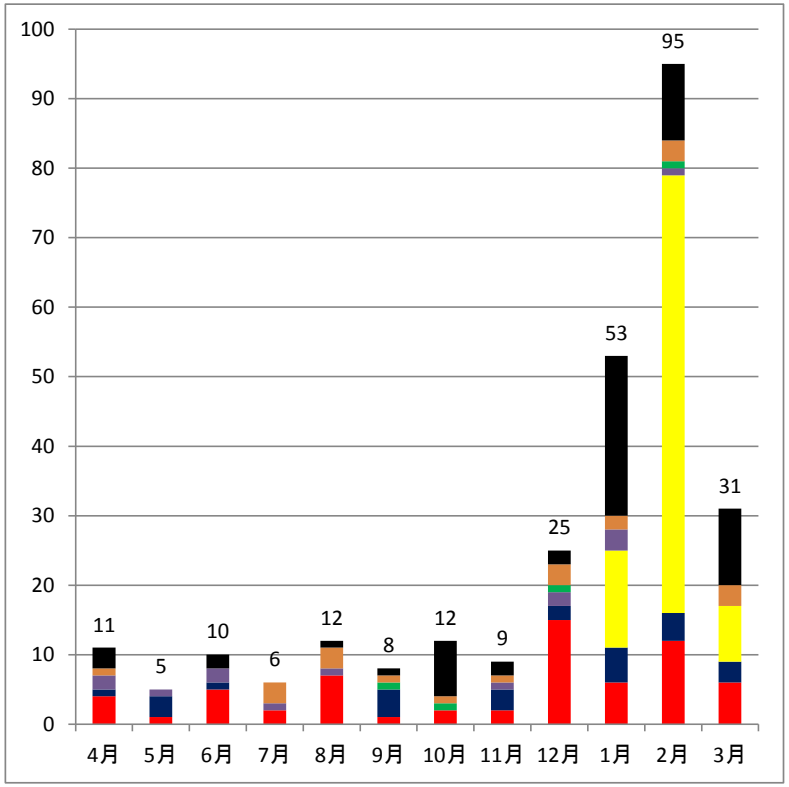


平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	471	453	442	509	551	498	544	533	621	629	579	551	6381
■受入件数(件)	460	448	432	503	539	490	532	524	596	576	484	520	6104
■収容不可(件)	11	5	10	6	12	8	12	9	25	53	95	31	277
◇応需率(%)	97.7%	98.9%	97.7%	98.8%	97.8%	98.4%	97.8%	98.3%	96.0%	91.6%	83.6%	94.4%	95.7%

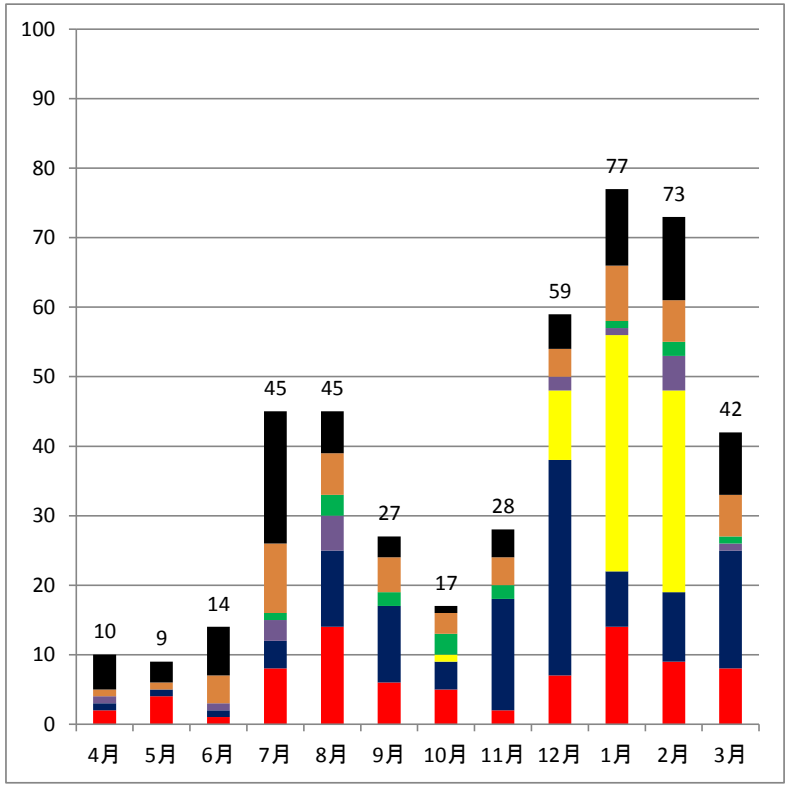
平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	508	496	449	621	584	566	517	544	564	657	537	529	6572
■受入件数(件)	498	487	435	576	539	539	500	516	505	580	464	487	6126
■収容不可(件)	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446
◇応需率(%)	98.0%	98.2%	96.9%	92.8%	92.3%	95.2%	96.7%	94.9%	89.5%	88.3%	86.4%	92.1%	93.2%

2. 収容不可理由別件数

平成29年度



平成30年度



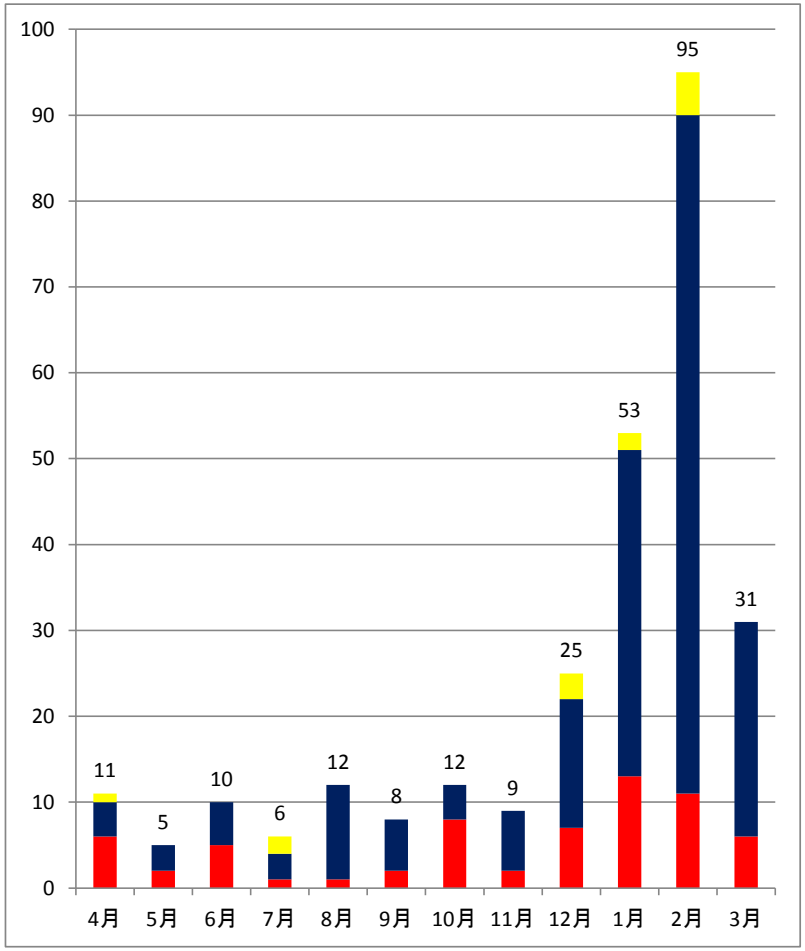
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車重複	4	1	5	2	7	1	2	2	15	6	12	6	63
OP対応不可	1	3	1			4		3	2	5	4	3	26
満床										14	63	8	85
小児輪番を勧める	2	1	2	1	1			1	2	3	1		14
かかりつけを勧める						1	1		1		1		4
特殊科	1			3	3	1	1	1	3	2	3	3	21
その他	3		2		1	1	8	2	2	23	11	11	64
合計	11	5	10	6	12	8	12	9	25	53	95	31	277

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車重複	2	4	1	8	14	6	5	2	7	14	9	8	80
OP対応不可	1	1	1	4	11	11	4	16	31	8	10	17	115
満床※							1		10	34	29		74
小児輪番を勧める	1		1	3	5				2	1	5	1	19
かかりつけを勧める				1	3	2	3	2		1	2	1	15
特殊科	1	1	4	10	6	5	3	4	4	8	6	6	58
その他	5	3	7	19	6	3	1	4	5	11	12	9	85
合計	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446

※インフルエンザ患者の受け入れ制限を含む 【対象件数(再掲)　1月34件　2月27件】

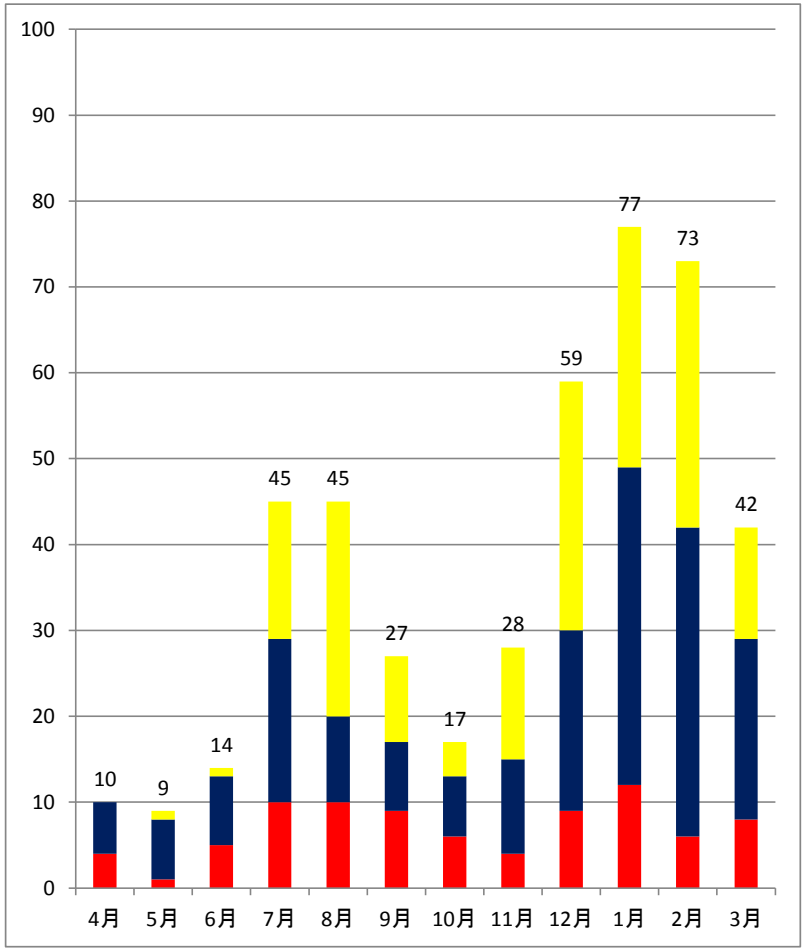
3. 収容不可状態別件数

平成29年度



平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
重症	6	2	5	1	1	2	8	2	7	13	11	6	64
軽症・中等症	4	3	5	3	11	6	4	7	15	38	79	25	200
不明	1			2					3	2	5		13
合計	11	5	10	6	12	8	12	9	25	53	95	31	277

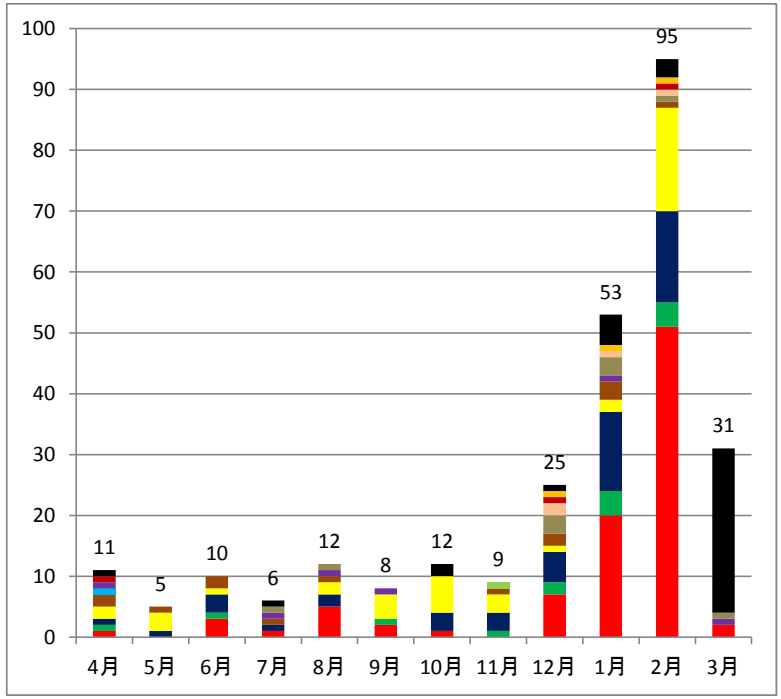
平成30年度



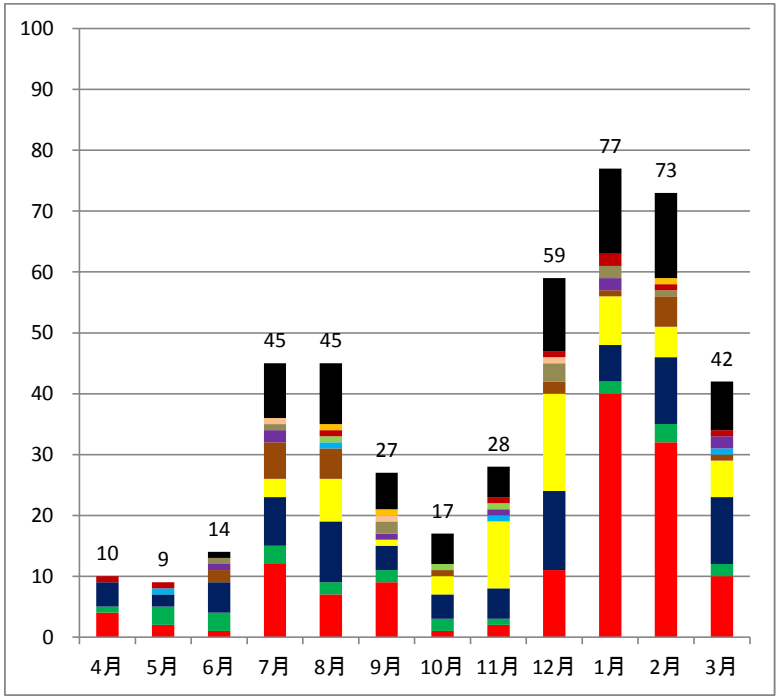
平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
重症	4	1	5	10	10	9	6	4	9	12	6	8	84
軽症・中等症	6	7	8	19	10	8	7	11	21	37	36	21	191
不明		1	1	16	25	10	4	13	29	28	31	13	171
合計	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446

4. 収容不可科別件数

平成29年度



平成30年度



平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1		3	1	5	2	1		7	20	51	2	93
外科	1		1			1		1	2	4	4		14
脳神経外科	1	1	3	1	2		3	3	5	13	15		47
整形外科	2	3	1		2	4	6	3	1	2	17		41
小児科	2	1	2	1	1			1	2	3	1		14
産婦人科	1												1
耳鼻咽喉科	1			1	1	1				1		1	6
眼科				1	1				3	3	1	1	10
泌尿器科								1					1
形成外科									2	1	1		4
精神科	1								1		1		3
心臓血管外科									1	1	1		3
皮膚科													0
不明	1			1			2		1	5	3	27	40
合計	11	5	10	6	12	8	12	9	25	53	95	31	277

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	2	1	12	7	9	1	2	11	40	32	10	131
外科	1	3	3	3	2	2	2	1		2	3	2	24
脳神経外科	4	2	5	8	10	4	4	5	13	6	11	11	83
整形外科				3	7	1	3	11	16	8	5	6	60
小児科			2	6	5		1		2	1	5	1	23
産婦人科		1			1			1				1	4
耳鼻咽喉科			1	2		1		1		2		2	9
眼科			1	1		2			3	2	1		10
泌尿器科					1		1	1					3
形成外科				1		1			1				3
精神科	1	1			1			1	1	2	1	1	9
心臓血管外科					1	1					1		3
皮膚科													0
不明			1	9	10	6	5	5	12	14	14	8	84
合計	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446